

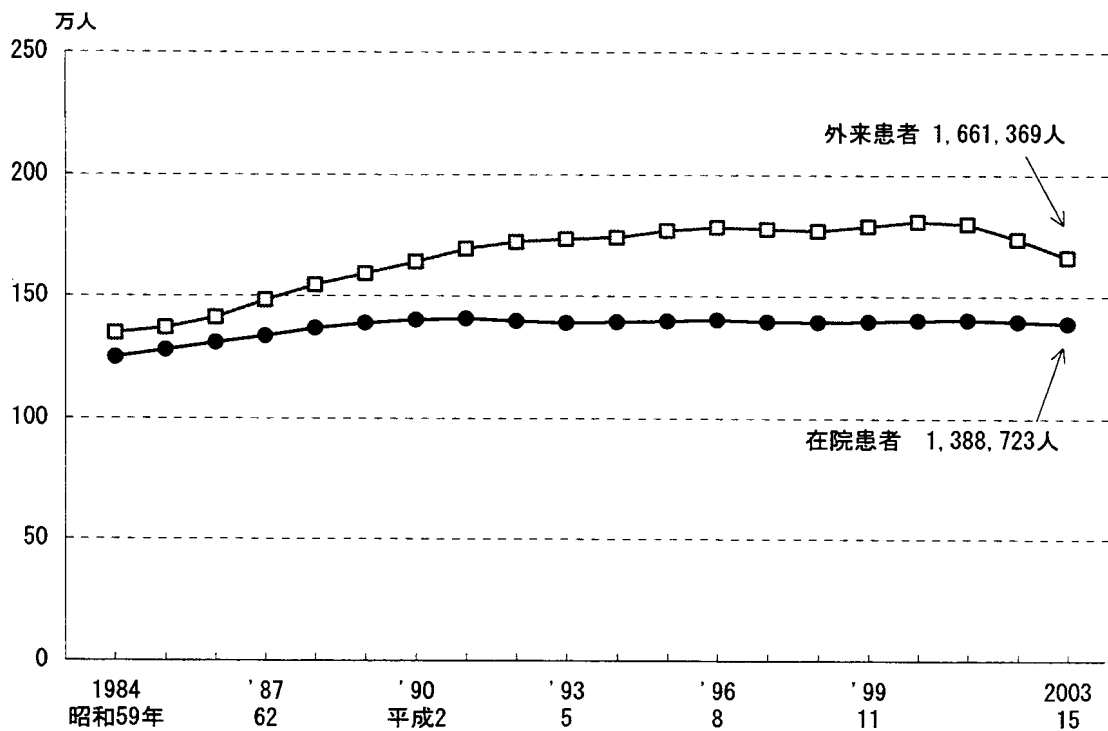
2 病院の患者数

(1) 1日平均患者数（病院報告）

1日平均在院患者数は1,388,723人で前年に比べ7,012人(0.5%)減少し、1日平均外来患者数は1,661,369人で前年に比べ75,393人(4.3%)減少している。(図4、表14、表15)

(参考)
統計表12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移 (p41)

図4 1日平均患者数の年次推移



注：1日平均外来患者数については、現行の算出式で再計算したため、平成11年までの報告書と一致していない。

1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

1日平均在院患者数は1,388,723人、1日平均新入院患者数は38,158人、1日平均退院患者数は38,218人である。このうち一般病院の1日平均在院患者数は1,142,697人で前年に比べ0.6%減少し、1日平均新入院患者数は37,550人、1日平均退院患者数は37,604人で前年に比べそれぞれ2.6%、2.7%増加している。(表14)

表14 1日平均在院・新入院・退院患者数

	各年間 (参考) 6月末										
	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数			病院数	
	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減率	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減率	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減率	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)
総 数	1 388 723	1 395 735	△ 0.5	38 158	37 186	2.6	38 218	37 196	2.7	9 139	9 193
精神病院	245 925	245 899	0.0	607	577	5.2	613	581	5.5	1 073	1 070
一般病院	1 142 697	1 149 717	△ 0.6	37 550	36 608	2.6	37 604	36 615	2.7	8 064	8 121
(再掲)											
精神病床	84 065	86 123	△ 2.4	332	332	0.0	340	337	0.9	594	600
その他の病床等	1 051 428	1 055 480	△ 0.4	37 125	36 179	2.6	37 171	36 181	2.7	8 053	8 110
49床以下	39 996	40 717	△ 1.8	1 402	1 434	△ 2.2	1 407	1 437	△ 2.1	1 429	1 473
50～99	143 399	143 335	0.0	3 537	3 546	△ 0.3	3 541	3 545	△ 0.1	2 417	2 435
100～149	134 390	133 765	0.5	3 076	3 068	0.3	3 075	3 063	0.4	1 325	1 320
150～199	148 165	147 636	0.4	3 758	3 696	1.7	3 760	3 692	1.8	1 005	1 005
200～299	156 300	157 816	△ 1.0	4 935	4 870	1.3	4 937	4 868	1.4	773	773
300～399	141 069	141 913	△ 0.6	5 984	5 800	3.2	5 993	5 801	3.3	502	505
400～499	85 636	84 988	0.8	4 304	4 112	4.7	4 311	4 112	4.8	241	239
500～599	70 114	71 181	△ 1.5	3 588	3 467	3.5	3 592	3 471	3.5	157	156
600～699	50 982	50 281	1.4	2 617	2 462	6.3	2 621	2 464	6.4	94	92
700～799	22 069	23 789	△ 7.2	1 174	1 146	2.4	1 176	1 147	2.5	36	38
800～899	15 288	14 418	6.0	782	693	12.8	787	693	13.6	20	20
900床以上	44 020	45 642	△ 3.6	1 968	1 886	4.3	1 972	1 890	4.3	54	54

- 注：1 総数には結核療養所を含む。
 2 途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上されている。
 3 その他の病床等とは、療養病床、一般病床及び経過的其他の病床(経過的旧療養型病床群を含む。)である。
 4 6月末病院数の「精神病床」と「その他の病床等」の数値は重複計上である。

2) 1日平均外来患者数

1日平均外来患者数 1,661,369 人のうち精神病院は 47,255 人で、前年に比べ 3.1%増加し、一般病院は 1,614,110 人で、前年に比べ 4.5%減少している。

(表 15)

(参考)

統計表 12 年間患者数, 病院の種類-病床の種類別にみた 1日平均患者数の年次推移 (p41)

表15 1日平均外来患者数

	各年間 (参考) 6月末			病院数	
	1日平均外来患者数			平成15年 (2003)	平成14年 (2002)
	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減率		
総 数	1 661 369	1 736 762	△ 4.3	9 139	9 193
精神病院	47 255	45 836	3.1	1 073	1 070
一般病院	1 614 110	1 690 920	△ 4.5	8 064	8 121
20～49床	106 426	112 420	△ 5.3	1 291	1 330
50～99	226 964	237 903	△ 4.6	2 330	2 352
100～149	158 176	164 733	△ 4.0	1 295	1 285
150～199	177 055	184 305	△ 3.9	1 019	1 017
200～299	185 556	197 191	△ 5.9	823	829
300～399	227 240	240 675	△ 5.6	574	575
400～499	154 511	159 924	△ 3.4	288	288
500～599	115 319	121 946	△ 5.4	169	171
600～699	90 828	90 654	0.2	123	115
700～799	45 545	47 947	△ 5.0	51	54
800～899	34 594	36 597	△ 5.5	30	32
900床以上	91 896	96 625	△ 4.9	71	73

注：総数には結核療養所を含む。

(2) 都道府県別にみた病院の人口10万対患者数（病院報告）

1) 1日平均在院患者数

全国の人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「その他の病床等」では823.9人で前年に比べ4.3人減少し、「精神病床」では258.6人で前年に比べ1.9人減少している。

これを都道府県別にみると、「その他の病床等」では高知県(1,697.5人)が最も多く、次いで山口県(1,292.9人)、熊本県(1,269.9人)であり、神奈川県(563.5人)、埼玉県(564.0人)、千葉県(568.2人)などが少ない。

また、「精神病床」では鹿児島県(544.0人)が最も多く、次いで長崎県(516.7人)、宮崎県(498.3人)であり、神奈川県(149.9人)、滋賀県(157.4人)、静岡県(174.0人)などが少ない。

(図5)

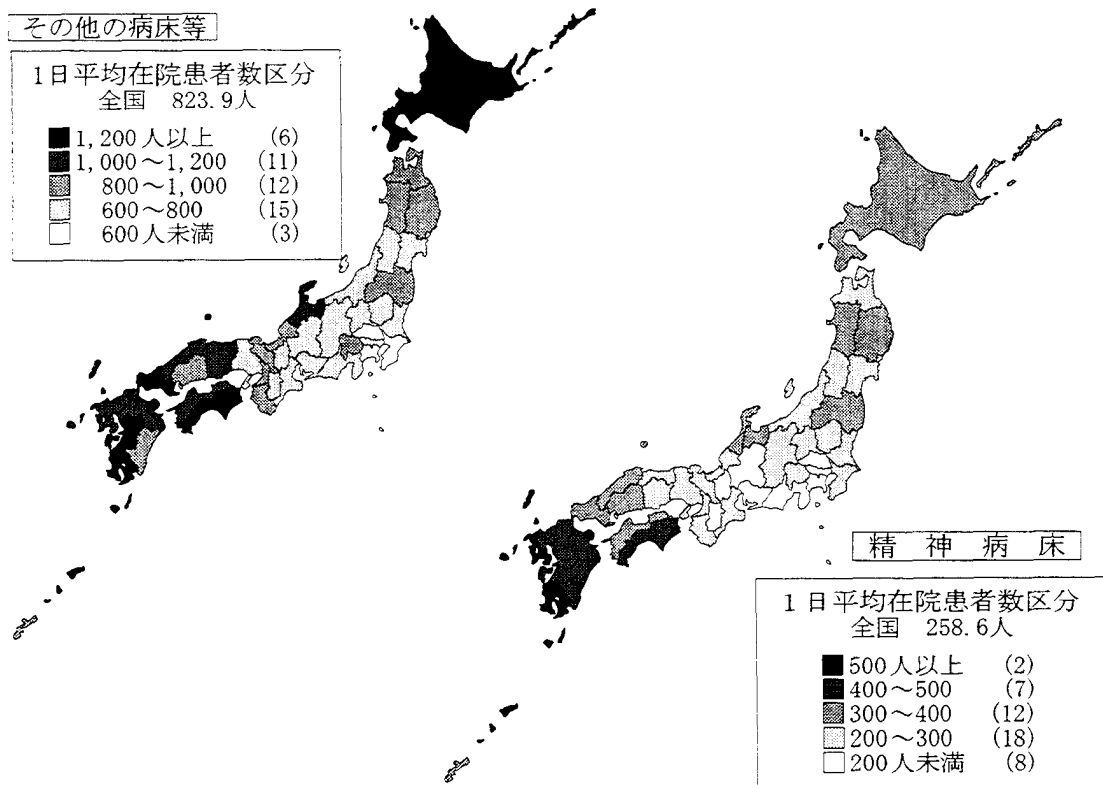
(参考)

統計表14 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた1日平均患者数(p43)

統計表15 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数(p45)

図5 都道府県別にみた病院の人口10万対1日平均在院患者数

平成15年(2003)



注：その他の病床等とは、療養病床、一般病床及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床群を含む）である。

2) 1日平均外来患者数

全国の人口10万対1日平均外来患者数は1,301.8人で前年に比べ61.1人減少している。

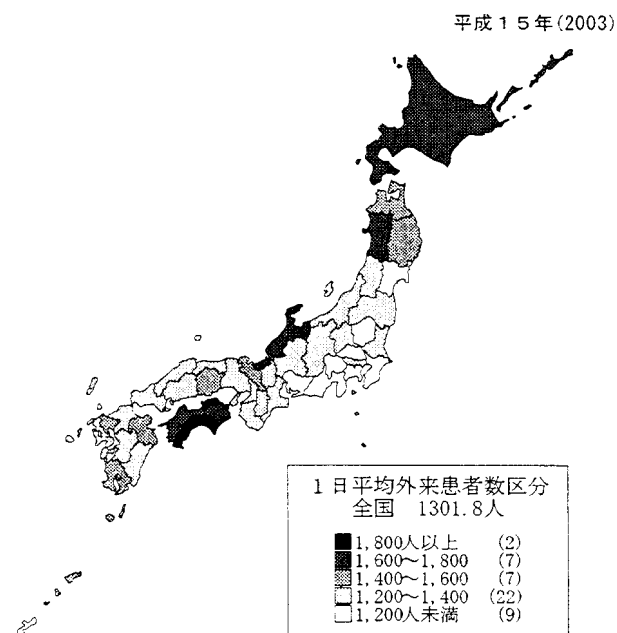
都道府県別にみると、高知県(1,976.7人)が最も多く、次いで香川県(1,823.5人)、福井県(1,794.6人)であり、静岡県(1,007.9人)、埼玉県(1,019.1人)、千葉県(1,045.7人)などが少ない。(図6)

(参考)

統計表14 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた1日平均患者数(p43)

統計表15 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数(p45)

図6 都道府県別にみた病院の人口10万対1日平均外来患者数



3 病院の病床利用率

(1) 病床の種類別及び病床規模別にみた病床利用率(病院報告)

全病床における病床利用率は84.9%で前年に比べ0.1ポイント減少している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は92.9%、「その他の病床等」は83.3%である。

「その他の病床等」の病床規模別にみると、600~699床(85.0%)が最も高く、次いで100~149床・150~199床(84.8%)であり、49床以下(75.5%)、900床以上(78.7%)、400~499床(82.2%)などが低い。(表16)

(参考)

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移(p42)

統計表16 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数(p47)

表16 病床の種類別及び病床規模別にみた病床利用率

	各年間		
	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減
総数	84.9	85.0	△0.1
精神病床	92.9	93.1	△0.2
感染症病床	2.4	2.5	△0.1
結核病床	46.3	45.3	1.0
その他の病床等	83.3	83.4	△0.1
49床以下	75.5	74.8	0.7
50~99	83.0	82.5	0.5
100~149	84.8	84.5	0.3
150~199	84.8	84.7	0.1
200~299	84.0	84.3	△0.3
300~399	83.6	83.8	△0.2
400~499	82.2	82.0	0.2
500~599	83.8	84.8	△1.0
600~699	85.0	85.4	△0.4
700~799	82.8	84.0	△1.2
800~899	83.4	84.1	△0.7
900床以上	78.7	80.2	△1.5

注：その他の病床等とは、療養病床、一般病床及び経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群を含む。)である。

4 病院の平均在院日数

(1) 病床の種類別及び病床規模別にみた平均在院日数（病院報告）

平均在院日数は、36.4日で前年に比べ1.1日短くなっており、病床の種類別にみると、「精神病床」は348.7日、「結核病床」は82.2日、「一般病床等」は20.7日で前年に比べそれぞれ15.0日、5.8日、1.5日短くなっている。

「一般病床等」の病床規模別にみると、500～599床(17.7日)が最も短く、次いで600～699床(17.9日)、400～499床(18.1日)であり、100～149床(25.8日)、50～99床(24.9日)、49床以下(23.1日)などが長い。(表17)

また、「一般病床等」の平均在院日数別に施設数をみると、10～20日未満が2,087施設(「一般病床等」を有する病院数の30.6%)と、最も多い。(図7)

(参考)

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移 (p42)

統計表16 都道府県-14大都市・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数 (p47)

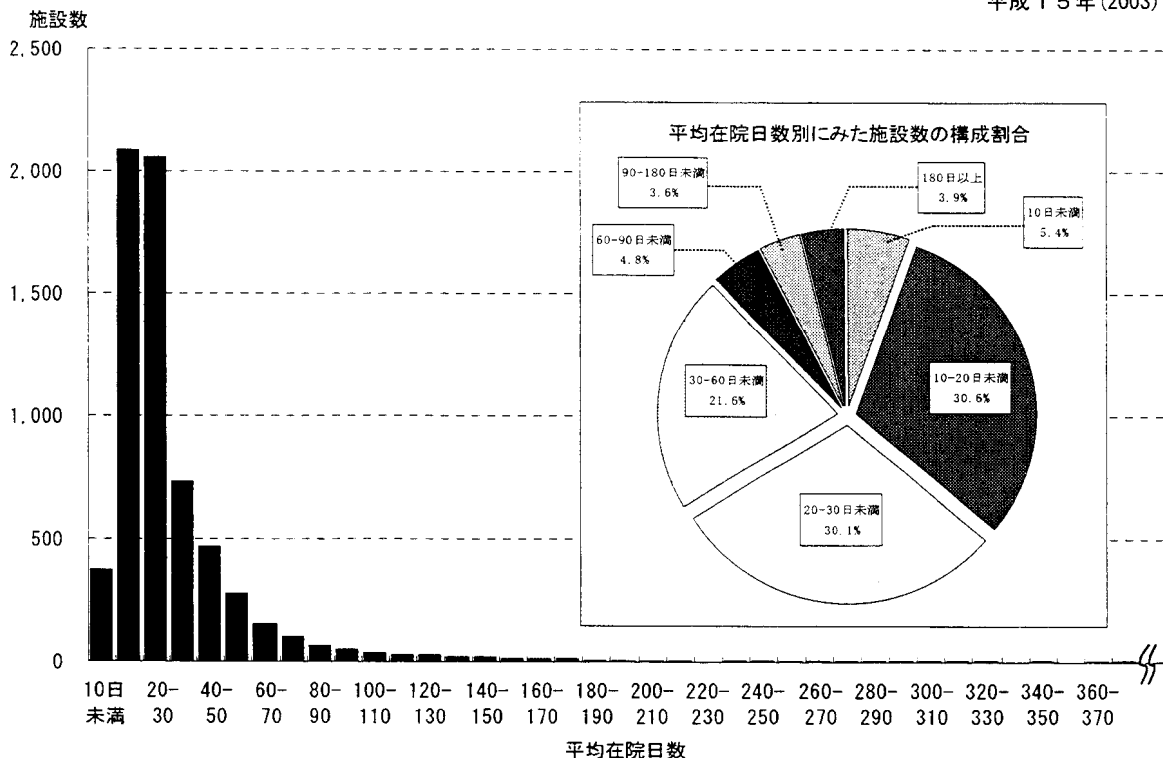
表17 病床の種類別及び病床規模別にみた平均在院日数

	各年間 (単位:日)		
	平成15年 (2003)	平成14年 (2002)	対前年 増減
総数	36.4	37.5	△ 1.1
精神病床	348.7	363.7	△ 15.0
感染症病床	8.7	8.7	0.0
結核病床	82.2	88.0	△ 5.8
その他の病床等 (再掲)	28.3	29.2	△ 0.9
一般病床等	20.7	22.2	△ 1.5
49床以下	23.1	23.8	△ 0.7
50～99	24.9	26.1	△ 1.2
100～149	25.8	27.9	△ 2.1
150～199	23.0	25.2	△ 2.2
200～299	20.7	22.2	△ 1.5
300～399	19.0	20.4	△ 1.4
400～499	18.1	19.0	△ 0.9
500～599	17.7	19.0	△ 1.3
600～699	17.9	19.1	△ 1.2
700～799	19.2	21.1	△ 1.9
800～899	18.5	20.0	△ 1.5
900床以上	20.4	22.4	△ 2.0

注:1 その他の病床等とは、療養病床、一般病床及び経過的其他の病床(経過的其他の療養型病床群を含む。)である。
2 一般病床等とは、一般病床及び経過的其他の療養型病床群を除く経過的其他の病床である。

図7 一般病床等の平均在院日数別にみた施設数

平成15年(2003)



注:一般病床等とは、一般病床及び経過的其他の療養型病床群を除く経過的其他の病床である。

(2) 都道府県別にみた病院の平均在院日数（病院報告）

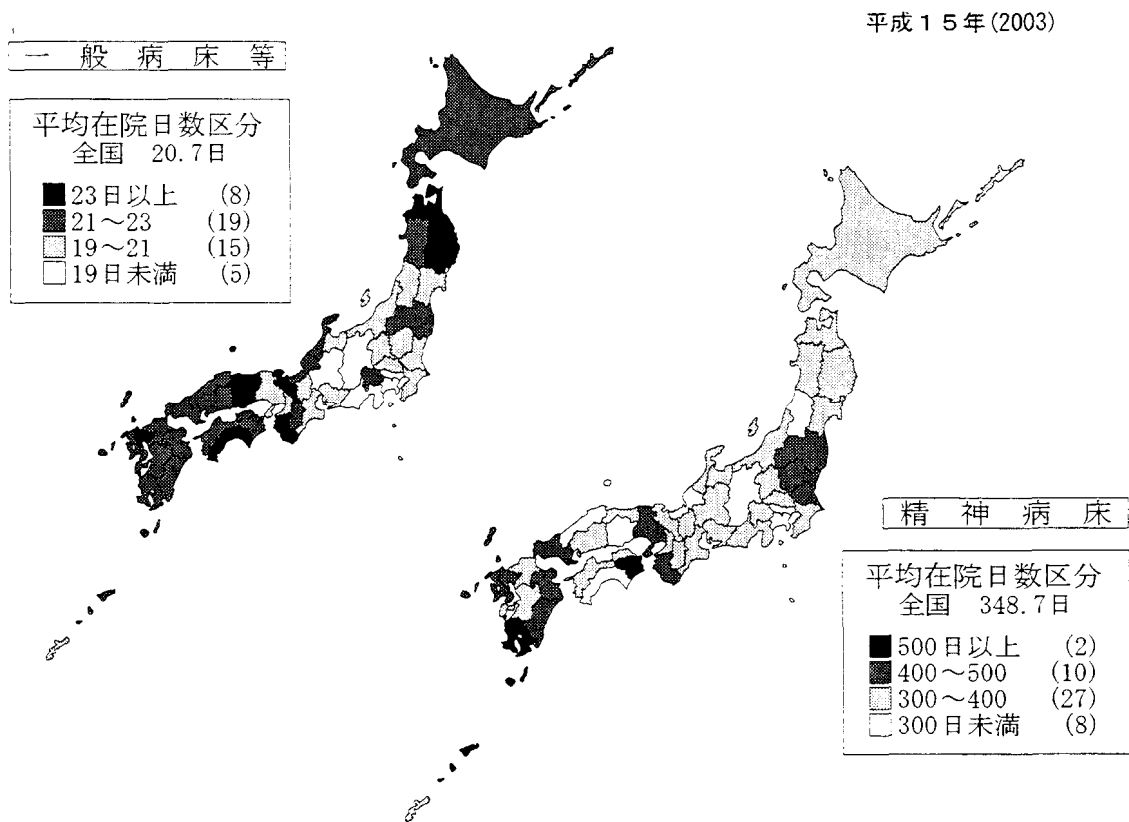
都道府県別平均在院日数を病床の種類別にみると、「一般病床等」では長野県(17.4日)が最も短く、次いで東京都・静岡県(18.5日)であり、佐賀県(24.9日)、岩手県・和歌山県(24.1日)などが長い。

また、「精神病床」では東京都(253.8日)が最も短く、次いで長野県(269.1日)、山形県(269.8日)であり、徳島県(574.5日)、鹿児島県(556.7日)、茨城県(481.1日)などが長い。(図8)

(参考)

統計表 16 都道府県-14 大都市・中核市（再掲）別にみた病床利用率及び平均在院日数（p47）

図8 都道府県別にみた病院の平均在院日数



注：一般病床等とは、一般病床及び経過的旧療養型病床群を除く経過的旧その他の病床である。

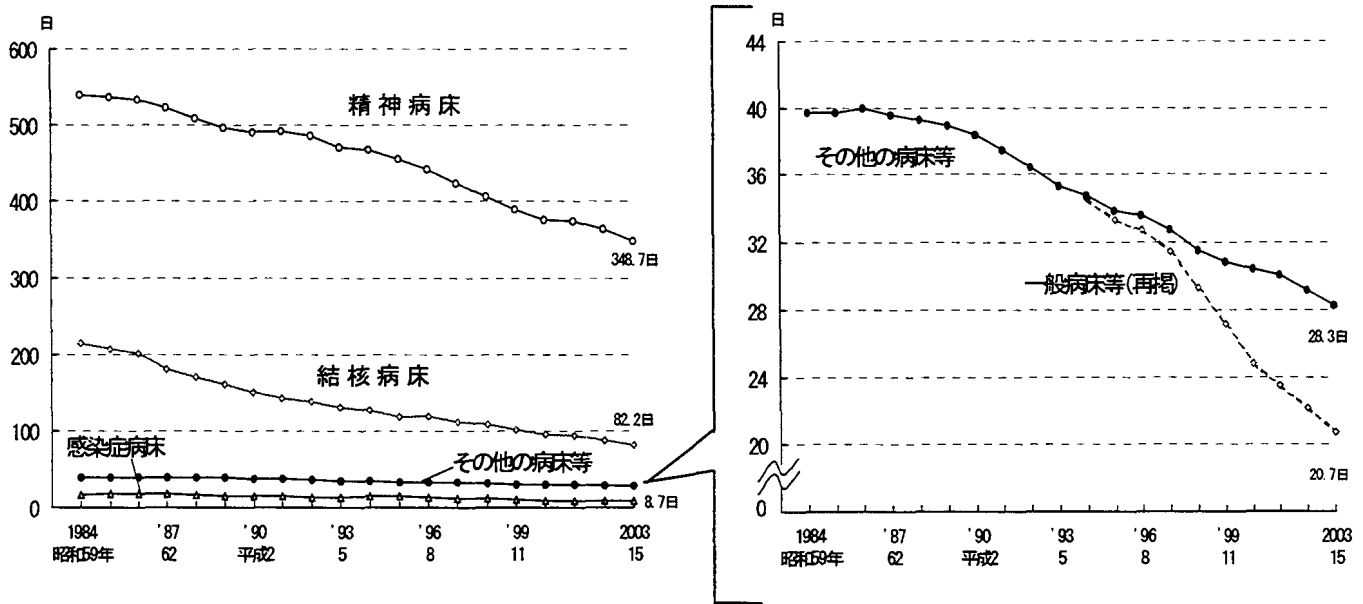
(3) 病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移 (病院報告)

平均在院日数の年次推移を病床の種類別にみると、「その他の病床等」では昭和 62 年以降、特に「一般病床等」で短縮傾向が著しい。また「精神病床」及び「結核病床」も短縮傾向である。(図 9)

(参考)

統計表 13 人口 10 万対 1 日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移 (p42)

図 9 病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



- 注：1 平成 11 年 4 月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が施行され、「伝染病床」は「感染症病床」に改められた。
 2 その他の病床等とは、療養病床、一般病床及び経過的旧その他の病床(経過的旧療養型病床群を含む。)である。
 3 一般病床等とは、一般病床及び経過的旧療養型病床群を除く経過的旧その他の病床である。